

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-236257(P2006-236257A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-53652(P2005-53652)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/033 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 09 G 5/00 (2006.01)

G 09 G 5/08 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/033 3 5 0 G

G 06 F 3/033 3 8 0 A

G 03 B 21/00 D

G 09 G 5/00 5 1 0 B

G 09 G 5/00 5 1 0 H

G 09 G 5/08 D

G 09 G 5/08 J

G 09 G 5/00 5 5 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月13日(2008.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の操作キーを備えたリモートコントローラでのキー操作に対応可能であり、外部装置から第1の接続手段を介して送られてくる画像信号に従った投影動作を実行する投影装置であって、

上記第1の接続手段とは別に上記外部装置と接続され、制御コマンドを送受する第2の接続手段を具備し、

この第2の接続手段によって上記外部装置と接続されている時には上記リモートコントローラの所定キーの操作に対応し、上記外部装置に所定の制御コマンドを送信することを特徴とする投影装置。

【請求項2】

上記リモートコントローラの所定キーはポインタの移動を指示するキーであり、

上記外部装置との非接触時には所定の機能を実行するキー制御手段を具備し、

上記キー制御手段は、上記外部装置との接続時には上記外部装置に画像信号中のポインタの移動を指示する制御コマンドを送信し、上記外部装置との非接続時に投影画像上に重畳するポインタの画像を移動させる

ことを特徴とする請求項1記載の投影装置。

【請求項3】

上記キー制御手段は、上記外部装置との非接続時には投影画像上に重畳するポインタの

画像を予め複数用意されたものの中で切換えることを特徴とする請求項2記載の投影装置。
。

【請求項4】

上記キー制御手段は、上記外部装置との非接続時に投影画像上に重畠するポインタの画像の点灯と点滅とを切換えることを特徴とする請求項2記載の投影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】投影装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、リモートコントローラを付属したプロジェクタ装置に好適な投影装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は上記のような実情に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、リモートコントローラの操作キーを有効に活用し、煩雑な設定操作等を行なう必要なしに、その時点に適したポインタの制御を含む投影動作を実現させることができ投影装置を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項1記載の発明は、複数の操作キーを備えたりモートコントローラでのキー操作に対応可能であり、外部装置から第1の接続手段を介して送られてくる画像信号に従った投影動作を実行する投影装置であって、上記第1の接続手段とは別に上記外部装置と接続され、制御コマンドを送受する第2の接続手段を具備し、この第2の接続手段によって上記外部装置と接続されている時には上記リモートコントローラの所定キーの操作に対応し、上記外部装置に所定の制御コマンドを送信することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項2記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、上記リモートコントローラの所定キーはポインタの移動を指示するキーであり、上記外部装置との非接觸時には所定の機能を実行するキー制御手段を具備し、上記キー制御手段は、上記外部装置との接続時

には上記外部装置に画像信号中のポインタの移動を指示する制御コマンドを送信し、上記外部装置との非接続時に投影画像上に重畳するポインタの画像を移動させることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項3記載の発明は、上記請求項2記載の発明において、上記キー制御手段は、上記外部装置との非接続時には投影画像上に重畳するポインタの画像を予め複数用意されたものの中で切換えることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

このように請求項3記載の発明によれば、上記請求項2記載の発明の効果に加えて、簡単な操作でポインタの画像を切換えることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項4記載の発明は、上記請求項2記載の発明において、上記キー制御手段は、上記外部装置との非接続時に投影画像上に重畳するポインタの画像の点灯と点滅とを切換えることを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

このように請求項4記載の発明によれば、上記請求項2記載の発明の効果に加えて、簡単な操作でポインタの点灯／点滅状態を切換えることができる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】